

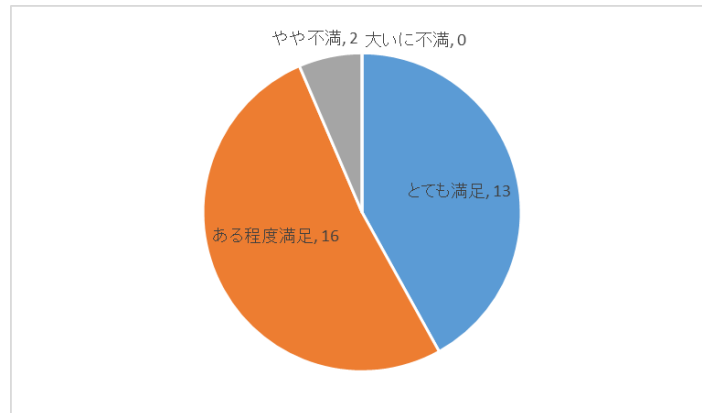
## 5. 学生アンケートの集計結果（米山潔）

### （1） アンケートの概要

本文に示す。

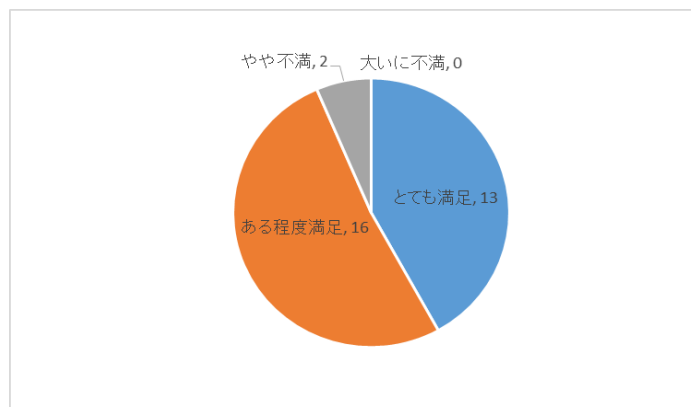
### （2） アンケート結果

#### 1) 基調講演評価



やや不満の2名の理由は「スムーズに進まなかったから」と「発表を作る人としらない人の差が大きかった。オンライン上のコミュニケーションがとりづらかった。」だった。講演ではなく対話会問題と推察する。従って、基調講演は満場一致で支持と考える。

#### 2) 対話会評価等



やや不満の2名は、基調講演の2名と異なる。理由も「質問しても的はずれなことを言う方もいた。知見を広めることが出来なかった。」と「質問を強要というか難しかったから。」であるが、両者共に「新しい知見が得られた」と回答した。事前に聞きたいと思ったことも、前者は「十分に聞いた」だし、後者も「ある程度きけた」と回答している。やや不満の根本原因をこれ以上追跡できない。更なる分析するには、どの班なのかをアンケートに記載してもらう必要がある。

「学生とシニア対話の必要性」については、高い評価から順に「8名、14名、4名、0名」であった。この程度の評価で十分と考えるかどうか、悩ましてところである。

#### 3) 放射線と原子力に対する学生の認識

2名が「放射線は怖い」に記したが、共に「一定のレベルまでは恐れる必要がないことを講演・対話会から理解できた。」と記したので、問題ないし成果ともいえる。

「原発」は高い評価から順に「10名、9名、4名、4名」で、残りの4名は「分からない」であった。

#### 4) カーボンニュートラルに対する学生の認識

地球温暖化等に関する関心度は、高い順に「11名、16名、3名、1名」であった。また、友人間の話題性についても高い順に「2名、11名、18名」であった。このようにバラケテいるのは、本件が未だ社会的に浸透していないためと考える。

関心や興味をもつ項目で、最も多かったのが「温暖化の影響と対策」16名、「エネルギー資源の確保」15名、「主要国の動向」12名、「これからの社会変化全般」11名と続いた。

#### 5) 補足

アンケートの読取り方は個人差が大きい。詳細は「**整理表**」に示すので参照されたい。

やや不満の2名の理由は「スムーズに進まなかったから」と「発表をする人としらない人の差が大きかった。オンライン上のコミュニケーションがとりづらかった。」だった。講演ではなく対話会問題と推察する。従って、基調講演は満場一致で支持と考える。

#### 6) 「**整理表**」

次の「**学生とシニアの対話会**」 **事後アンケート** に基づくアンケート結果を示す。

# 「学生とシニアの対話会」 事後アンケート

2022.1.8

シニアネットワーク連絡会

日本原子力学会・シニアネットワーク連絡会の「学生とシニアの対話」にご参加いただきありがとうございました。本対話を通して感じたことを記憶の新しいうちにまとめてみてください。本企画は、今後もさまざまなところで継続的に行っていく予定です。皆様よりいただいた感想やご意見は今後の対話会等に役立たせていただきたいと思います。

## － アンケート項目 －

- まず、あなた自身について該当するものをチェックして下さい。  
( )学生 ( )教員 ( )一般市民 ( )男性 ( )女性
- 学生さんに伺います。該当するものをチェックして下さい。  
( )高専 ( )学部 ( )修士 ( )博士 ( )年  
専攻について伺います。該当するものをチェックし、専攻を記入して下さい。  
( )理系(専攻: ) ( )文系(専攻: ) ( )文理統合系(専攻: )  
進路について伺います。該当するものをチェックし、希望を記入して下さい。  
( )就職 (希望就職先、分野: ) ( )進学 (希望進学先、分野: )
- 今回の講演や対話について伺います。該当するものをチェックして下さい。
- (1) 講演の内容は満足のものでしたか？その理由は？  
( )とても満足 ( )ある程度満足 ( )やや不満 ( )大いに不満  
理由:
- (2) 対話の内容は満足のものでしたか？その理由は？  
( )とても満足 ( )ある程度満足 ( )やや不満 ( )大いに不満  
理由:
- (3) 事前に聞きたいと思っていたことは聞けましたか？  
( )十分聞くことができた ( )ある程度聞くことが出来た  
( )あまり聞けなかった ( )全く聞けなかった
- (4) 今回の対話で得られたことは何ですか？(複数回答も可)  
( )新しい知見が得られた。( )マスコミ情報と今回の対話会情報に違いがあった。  
( )自分の将来の進路の参考になった。( )教育指導の参考になった。  
( )特に新しい知見は得られなかった。( )その他 (具体例: )
- (5) 「学生とシニアの対話」の必要性についてどのように感じますか？  
( )非常にある ( )ややある ( )あまりない ( )全くない  
理由:
- (6) 今後、機会があれば友達や後輩に対話会への参加を勧めたいと思いますか？  
( )勧めたいと思う ( )勧めたいとは思わない  
( )どちらとも言えない  
( )その他( )
- 放射線、放射能に対して伺います。(複数回答も可)  
( )放射線、放射能はやはり怖い。  
( )一定のレベルまでは恐れる必要はないと以前から知っていた。  
( )一定のレベルまでは恐れる必要がないことを講演、対話から理解できた。  
( )放射線、放射能は生活に有用であることを前から知っていた。
- 原子力発電に対して伺います。  
第6次エネルギー基本計画では、原子力については、安全性の確保を大前提に必要な規模を持続的に活用していくとしつつ、可能な限り原発依存度を低減するとしています。本日の対話も踏まえあなたの認識は次のどれですか？  
( )原子力発電の必要性を強く認識した。削減又は撤退すべきでない。  
( )原子力発電の必要性は分かっていたので、認識は変わらなかった。  
( )原子力発電の必要性は分かるが、やはり危ないから早期に削減又は撤退すべきだ。  
( )原子力発電を止め、再生可能エネルギーを最大限使えばよい。  
( )どうすればいいかよく分からない。  
理由:
- 本企画を通して全体の感想・意見などがあれば自由に書いてください。

- 最後に、カーボンニュートラル(脱炭素)に対して伺います。  
温暖化対策や脱炭素社会実現などについてメディア報道が毎日のように流れております。脱炭素についてのあなた自身の意識変化についてお聞きします。
- (1)地球温暖化や脱炭素社会の実現について関心や興味がありますか？  
( )大いにある ( )少しはある ( )あまりない ( )ない
- (2)友人同士で温暖化や脱炭素社会を話題にしますか？  
( )大いに話す ( )あまり話さない ( )ほとんど話さない
- (3)興味や関心があるのはどの項目でしょうか？(複数回答可)  
( )温暖化のメカニズム ( )温暖化の影響と対策 ( )主要国の動向  
( )エネルギー資源の確保 ( )我が国の環境・エネルギー政策全般  
( )脱炭素化実現のためのコスト ( )脱炭素化の手段、方法論、道筋  
( )脱炭素化の技術開発、イノベーション ( )地球規模リスクの管理手法  
( )脱炭素化での日本、世界の産業界動向 ( )これからの社会変化全般  
( )原子力発電や再生可能エネルギーの役割  
( )その他( )
- (4)地球温暖化や脱炭素化社会実現の動向はあなた自身の生活や進路選択に影響をもたらしていますか？(複数回答可)  
( )進路を考える上で企業の姿勢などを考慮 ( )進路とは切り離している  
( )普段の生活態度が少しは変わった ( )生活態度に変化はない
- (5)日本の2050年脱炭素化社会の実現可能性について見解をお尋ねします。  
( )実現するとは思えない ( )相当いいところまで到達する ( )わからない
- (6)「地球温暖化対策のための脱炭素達成には、これからのエネルギー(化石燃料、再エネ、原子力)の選択が大変重要です。あなたはこのことを知っていますか。  
( )十分知っている ( )多少知っている ( )知らない  
( )勉強してもっと知りたい

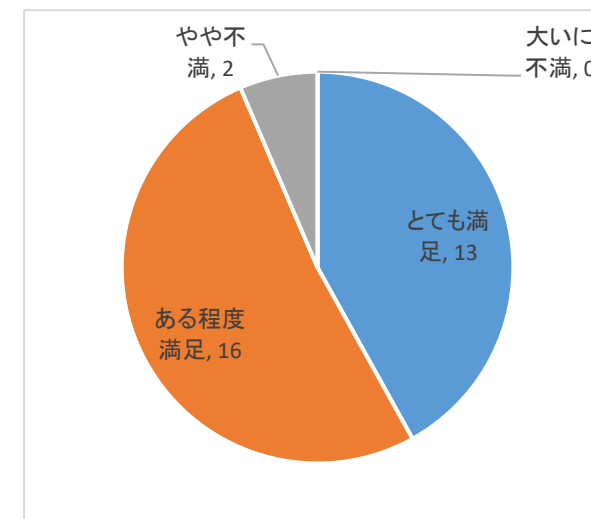
< ご協力ありがとうございました >

専攻	機械を1、都市工学(電気含む)を2、ビジネスを3とする。
	専攻:理系25名、文系6名であった。
進路	進路:就職を1、進学を2とする。

仮番	専攻	進路	希望先 分野	(1)基調講演の満足度	
				満足度	理由
1	2	1	未定	3	参考になったため。
2	1	2	ロボット分野	3	知らないことを知るいい機会だったから。
3	2	2	都市システム	2	スムーズに進まなかったから
4	1	1		3	
5	1	2	美術	3	原子力について詳しく知れたから。
6	2	1	公務員	4	分かりやすかったから
7	2	1	公務員	4	新しい知識が入ってきたから
8	1	1	航空	4	分かりやすく、知らないことを学ぶことが出来た。
9	2	2	都市	3	良かった
10	2	1		4	高レベル放射性廃棄物について詳しく説明を受けられたから。
11	2	2	土木工学系	4	専門家の意見が聞ける貴重な機会になったため
12	1	1	未定	3	資料があったので分かりやすかったです。
13	3	2	歴史学	3	前回の集中講義での討論の内容と重なる部分があり既に知っていることだった。
14	2	2	専攻科	3	新しいことを知ることができた。
15	1	2	工学系	2	発表にて、発表文を作る人と何もしない人の差が大きかったと思う。また、オンライン上のコミュニケーションが取り辛かった。
16	2	1	防災・減災関連	3	知らないところばかりで勉強になった。しかし、少し資料が多く見辛かった。
17	2	2	土木系の仕事	4	始めに処理水について詳しい説明を受け、そのあとにその処理水をどのように処理するか、風評被害を抑えるにはどうすればよいかについて議論を行ったことで処理水についてより関心や興味が湧いたり知識が増えたから。
18	2	1		4	原子力発電についての詳しい知識などを得ることができた。
19	3	1	事務・会計	3	自分の知らないことがたくさんあり、有意義な時間を過ごすことができたから。
20	1	1	航空関係エンジニア	3	ある程度知ってる物もあったのでもう少し新しいことも知りたかった
21	2	1	公務員	4	このような機会があって初めて知ったことがたくさんあり、理解を深められたから
22	3	2	人文学部	4	基調講演のおかげで理解が深まったから。
23	1	2	工学システム	3	対談で具体的な題があればもっとやりやすかったです
24	2	1	未定	4	新たな知識を取り入れることが出来たから。
25	3	2	経済学	3	自分のしらなかった知識をきけた。

参加者の専攻		
機械	都市工学	ビジネス
11	14	6

講演の内容は			
とても満足	ある程度満足	やや不満	大いに不満
13	16	2	0



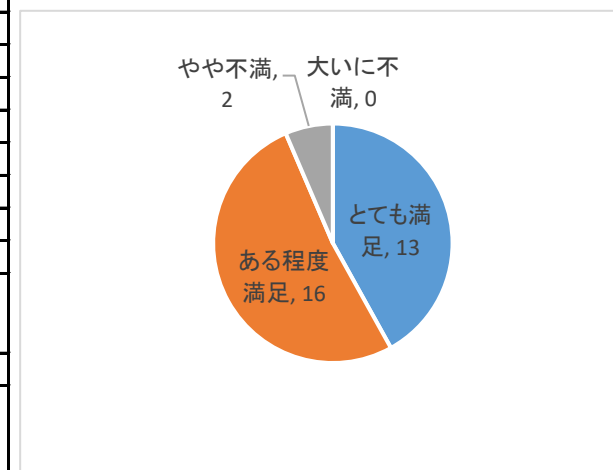
進路について		
就職	進学	未定
14	17	0

26	1	2		3	放射線廃棄物の処理方法についてある程度理解することができたから
27	3	2	経済	4	放射性廃棄物の処理方法は、低レベル放射性廃棄物と高レベル放射性廃棄物で処理の仕方が違うということがわかったからです。
28	3	2	経済学	3	受講していないから。
29	1	2	メカトロニクス	3	詳しい説明を聞いたから。
30	1	2	機械系	4	ディベートが楽しかった
31	2	1	建設コンサル	4	資料に沿っていてとても分かりやすかった

専攻	機械を1、都市工学(電気含む)を2、ビジネスを3とする。
進路	専攻:理系25名、文系6名であった。 進路:就職を1、進学を2とする。

仮番	専攻	進路	希望先	分野	満足度	(2) 対話会の内容は満足のものでしたか? その理由は	理由	事前の考え聞けたか	得られたこと					
									新知見	別情報	進路	教育	知見無	
1	2	1	未定		3	自分には無い意見を聞けたため。		4	1					
2	1	2	ロボット分野		3	知らないことを知れたから。		2	1					
3	2	2	都市システム		3	ある程度自分の意見も言えて、チームの意見も聞けたから		3	1					
4	1	1			3			2	1					
5	1	2	美術		3	自分の持っていた疑問が晴れたから。		3	1					
6	2	1	公務員		4	良い話し合いができたから		4	1					
7	2	1	公務員		3	対面の方が話しやすかったから		3	1			1		
8	1	1	航空		2	質問しても的はずれなことを言う方もいた。知見を広めることが出来な		4	1					
9	2	2	都市		3	良かった		2	1					
10	2	1			4	原子力発電所を長く使う際に何をするのか理解できたから。		3	1					
11	2	2	土木工学系		2	質問を強要というか難しかったから		3	1					
12	1	1	未定		3	既に知っている内容が多かったから。		3	1					
13	3	2	歴史学		4	全員が意見を言い、偏りがなかったから。		3	1					
14	2	2	専攻科		3	新しいことを知ることができた。		3	1					
15	1	2	工学系		3	広く浅いイメージだったので注目する事柄を狭めて具体的に聞いてみたかった。		3	1					
16	2	1	防災・減災関		4	質問に対して分かりやすくプラスαのことまで返答して頂けたから。		4	1					
17	2	2	土木系の仕事		4	自分には無い観点の意見が沢山あったり、専門家の人から直接自分の意見はどうであるか判断して頂けたためとても勉強になった。また、専門家の方々の意見を聞けたり、普段できないオンラインでの会議をすることができ、とても貴重な体験ができたのでとても満足した。		4	1		1	1		

対話会について			
とても満足	ある程度満足	やや不満	大いに不満
13	16	2	0



18	2	1		4	自分とは違う視点の意見も知ることが出来た	4	1				
19	3	1	事務・会計	4	非常にわかりやすい説明で、知識がほとんどなくても十分に理解することができたため。	4	1				
20	1	1	航空関係エン	3		3	1				
21	2	1	公務員	4	専門の先生に直接伺うことができ、とても貴重な経験になったからです。	3	1			1	
22	3	2	人文学部	4	日本のエネルギー問題と原発の再稼働について深く知ることができたから。また、質問に対して丁寧に回答していただき、より理解が深まったと	3	1				
23	1	2	工学システム	4	質問したこと全てに細かく解答して頂けた	4					
24	2	1	未定	3	自分の気になることを直接聞くことが出来た反面、teamsの会議だったため話ずらかった。	3					
25	3	2	経済学	4	用事があったため対話には参加できませんでした。	2					
26	1	2		3		4	1				
27	3	2	経済	4	基調講演を聞いての対話だったので、講演を聞いて自分が疑問に思ったことやもっと放射性廃棄物について詳しく知りたいことなど聞けてよかったからです。	3	1	1			
28	3	2	経済学	3	受講していないから。	3			1		
29	1	2	メカトロニクス	3	意見交換できたから。	3	1				
30	1	2	機械系	4	なかなか話し合う機会がない内容だったので、知識が深まっていくのを感じれたから。	3	1				
31	2	1	建設コンサル	3	煽るような口調が少し見られたので、少し不快になった。だが、質問した内容については考えて答えてくれたので良かった。	3	1				
							27	1	2	3	0

対話会において聞きたいことが聞けたか			
十分	ある程度	あまり	全く聞けない
9	18	4	0



専攻	機械を1、都市工学(電気含む)を2、ビジネスを3とする。
進路	専攻:理系25名、文系6名であった。 進路:就職を1、進学を2とする。

基本事項				対話会の必要性	友人等に誘うか	放射線				原子力発電				理由
仮番	専攻	進路	希望先分野			怖い	以前知	理解知	有用知	必要性強	必要認識	早期撤退	再工ネ	
1	2	1	未定	3	4		1					1	私が意見を出すには知識が不足していると感じるため。	
2	1	2	ロボット	3	3		1			1				
3	2	2	都市シス	3	3		1			1			前の講義で知識があったから	
4	1	1		3	4		1		1			1		
5	1	2	美術	2	2		1					1	安全が一番だと思うから。	
6	2	1	公務員 公務員	3	3		1				1		危ないから	
7	2	1		3	3		1					1	原子力発電は大量の電気を発電できる点ではいいが、事故が起きてしまったときに風評被害が大きくなってしまふから	
8	1	1	航空	2	2		1						1	
9	2	2	都市	4	4		1			1			安全性があるから	
10	2	1		3	4		1			1				
11	2	2	土木工学系	2	3		1			1			事故が起こる前の原子力発電はとても画期的な素晴らしいものであると認識してるため	
12	1	1	未定	3	3				1	1			温室効果ガスを排出しないというメリットと、津波等の対策が最近はとられてきているから。	
13	3	2	歴史学	4	4		1			1			安全性が十分であれば使ってもいいと思えたし、再生可能エネルギーだけでは発電量に限りがあるか	
14	2	2	専攻科	3	3				1				今の状況で再生可能エネルギーのみで生活出来るとは思えない。化石燃料の可採年数は短く二酸化炭素の排出で地球環境にも悪いのでやっぱり原子力発電を利用するべきであると思う。	
15	1	2	工学系	3	3		1		1	1			CO2削減になることと、やはり資源に対するエネルギー量の確保が安定していることが分かったから。	

対話会の必要性			
大いに	少し	あまりない	殆ど無い
8	19	4	0
対話会への勧誘			
勧めたい	言切れない	勧めない	その他
0	2	12	17

16	2	1	防災・減災関連	3	4	1						1	原子力発電を完全に辞める必要は無いと思う。原子力発電を使いながら最終的には再生可能エネルギーに完全移行出来れば良いと思う。	
17	2	2	土木系の仕事	4	4		1		1				再生可能エネルギーを使うことも大切ではあるが、再生可能エネルギーは発電コストが高く、発電効率が悪いのでエネルギーが足りなくなった時にどうしても復旧が難しいと考えたから。だから原子力発電所は危険ではあるが自分たちの生活には必要不可欠なものであると考えた。	
18	2	1		4	4		1					1	原子力発電の必要性や危険性について知ることが出来たが、どうするべきかの判断は難しいと思った。	
19	3	1	事務・会計	3	4	1		1					原子力発電は事故の危険性などがあるか、再生可能エネルギーで電力を全て賄うことは難しく、原子力発電はある程度必要であると思ったから。	
20	1	1	航空関係エンジニア	3	4		1			1			CO2削減、再生エネルギーによる発電の不安定さも踏まえるとどこからエネルギーを取るかといったら原子力しかないと思うから	
21	2	1	公務員	4	4		1			1			エネルギー供給の安定性という面や、地球温暖化防止という面で必要であると認識したから。	
22	3	2	人文学部	3	4			1		1			再生可能エネルギーが安定してエネルギーを得ることが出来ないというデメリットがあるため、エネルギー変換効率の高い原子力発電はその補佐として必要であると感じたから。	
23	1	2	工学シス	3	3		1				1		再生可能エネルギーには限度があるから	
24	2	1	未定	3	4					1			効率的な面で見れば原子力発電は非常に有効だと分かった。	
25	3	2	経済学	4	4							1	日本は地震大国であるため東日本大震災と同じことが起こってもおかしくない。	
26	1	2		3	4		1				1			
27	3	2	経済	4	4		1	1					1	今回の講義を通して、初めは原子力発電は危ないものだからと考えていましたが、他の班の発表を聞いて再生可能エネルギーで日本の電力をまかなうことができるのか、と疑問に思ってしまったからです。
28	3	2	経済学	3	3		1					1	危険性があるから。	

29	1	2	メカトロニクス	2	3			1		1						地球温暖化が悪化しているのに対して、火力発電を使うより環境に良い原子力発電は削減できないと考えたから。
30	1	2	機械系	4	4	1		1					1			危険なものは使わない方がよいから。
31	2	1	建設コンサル	3	3			1						1		地熱や太陽光などそれぞれの土地に合う発電した方がよいと思うため。
						2	18	11	3	10	9	4	4	4		

専攻	機械を1、都市工学(電気含む)を2、ビジネスを3とする。
進路	専攻:理系25名、文系6名であった。
進路	進路:就職を1、進学を2とする。

基本事項					カーボンニュートラル[CN](脱炭素)について																										
仮番	専攻	進路	希望先	分野	関心興味度	友人間話題	興味・話題項目										生活等影響				2050年実現可能性			エネ選択の重要性認識							
							温暖原因	温暖対策	国際動向	資源確保	日本政策	対策費用	対策方法	技術開発	地球問題	産業動向	社会変化	原発役割	その他	進路影響有	生活影響無	変化有	変化無	実現不可	相当いいところ	わからない	十分知っている	多少知っている	知らない	これから勉強する	
1	2	1	未定		1	1			1															1				1			
2	1	2	ロボット分野		4	2		1							1									1				1			
3	2	2	都市システム		3	1				1								1								1				1	
4	1	1			2	1		1		1	1			1				1						1						1	
5	1	2	美術		3	1						1							1						1			1			
6	2	1	公務員		3	1		1											1					1				1			
7	2	1	公務員		3	1	1			1									1						1				1		
8	1	1	航空		4	2		1	1	1			1	1	1	1	1				1				1			1			
9	2	2	都市		3	1	1												1											1	
10	2	1			3	1			1			1								1						1				1	
11	2	2	土木工学系		2	1		1													1									1	
12	1	1	未定		4	2		1		1				1					1							1				1	
13	3	2	歴史学		4	2		1		1	1	1										1								1	
14	2	2	専攻科		3	1		1	1			1										1									1
15	1	2	工学系		4	1	1	1	1	1	1													1						1	
16	2	1	防災・減災関連		3	2													1									1			
17	2	2	土木系の仕事		3	2		1		1	1				1					1						1				1	
18	2	1			4	2	1								1						1									1	
19	3	1	事務・会計		3	2				1	1	1			1	1	1	1			1										1
20	1	1	航空関係エンジニ		4	2								1	1						1						1				
21	2	1	公務員		3	1	1	1	1		1													1							1
22	3	2	人文学部		3	2			1	1												1					1				
23	1	2	工学システム		4	1	1																	1						1	
24	2	1	未定		3	1																			1					1	
25	3	2	経済学		4	3			1											1							1				
26	1	2			3	2		1																1							1
27	3	2	経済		4	3	1		1	1											1						1				
28	3	2	経済学		2	2			1		1																1				1



専攻	機械を1、都市工学(電気含む)を2、ビジネスを3とする。
	専攻:理系25名、文系6名であった。
進路	進路:就職を1、進学を2とする。

仮番	専攻	進路	希望先 分野	本企画を通して全体の感想・意見などがあれば自由に書いてください。
1	2	1	未定	
2	1	2	ロボット分野	
3	2	2	都市システム	
4	1	1		
5	1	2	美術	
6	2	1	公務員	良い企画だと思った
7	2	1	公務員	とてもためになる話し合いであったと思います
8	1	1	航空	
9	2	2	都市	
10	2	1		
11	2	2	土木工学系	全体的によかった
12	1	1	未定	オンラインでの対話が初めてだったので難しく、あまり上手く出来なかったが、また新しい知識を得ることが出来た。
13	3	2	歴史学	
14	2	2	専攻科	
15	1	2	工学系	発表の内容についてどのようなことを発表すればいいのか事前に知りたかった。
16	2	1	防災・減災関連	分からないことが多く、新たな発見があった。よい経験になった。
17	2	2	土木系の仕事	専門家の方々の説明を聞いてからの会議で知識が増え、参加して良かったと思えました。特に会議では自分の意見とはまた違う視点の意見が出たり、生徒だけで司会進行をして討論するということを今までやったことがあまりなかったので貴重な体験ができました。ただ、オンラインという形だったので直接対面で専門家の方々や他の学科の方々とお話できず、自身が無くてあまり質問ができなかったところが心の凝りです。
18	2	1		
19	3	1	事務・会計	
20	1	1	航空関係エンジニ	
21	2	1	公務員	
22	3	2	人文学部	
23	1	2	工学システム	誤った情報や知らなかった情報を多くしれてとても有意義な時間を過ごせました。ありがとうございました。
24	2	1	未定	対話を通して原子力発電のイメージを大きく変えることができました。
25	3	2	経済学	

26	1	2		
27	3	2	経済	今回の講義で、放射性廃棄物について詳しく知れることができ、現在の処理方法など全然知らなかったことを知ることができてよかったと思います。しかし、今回はやむを得ずリモートの講義となってしまう質問したいことをいつ言えばいいのか、など班の方たちと探り探りになってしまったので発言するところはしっかり発言しようと思いました。また、他の班の発表を聞いてそちらの話も聞いてみたいなと思いました。
28	3	2	経済学	
29	1	2	メカトロニクス	
30	1	2	機械系	
31	2	1	建設コンサル	